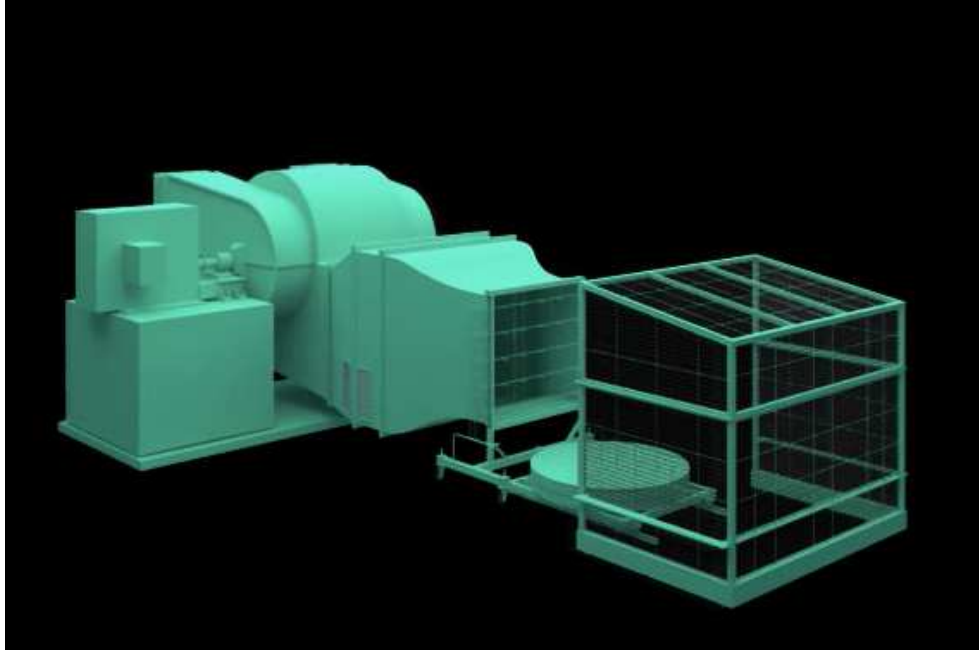


大型送風散水試験装置

—実風を用いた水密・耐風圧性試験—



◆試験の概要

建築分野では、圧力箱を使用し、静的荷重を加えながら水密性や耐風圧性試験を実施することが、一般的な評価方法として広く知られている。これら試験方法はJIS規格等に定められている。

しかし、実際の風雨を考えた場合に、動圧の影響は非常に大きく、静的荷重試験では再現できない部分も多い。

今回導入する大型送風散水試験装置では、吹き出し口から直接実風が送風され、実際の風に近い状態を再現することが可能である。加えてターンテーブルを併設することで、試験体に対し任意に風向を変化することもできるので、様々な角度における水密性や耐風圧性能の検証が可能となる。

◆対象の試験項目

- ・耐風圧強度試験(定常風, 脈動風, 突風)
- ・飛散試験(定常風, 脈動風, 突風)
- ・水密性試験, 防水性試験
- ・振動試験, 挙動試験
- ・強風時開閉力試験
- ・実風繰り返し耐久性試験
- ・気流可視化試験など

◆試験の対象となる部材

①建築部材

屋根材, 壁材

②建具など

ドア, サッシ, 開閉アシスト金具, 網戸, シャッター
シャッター構成部材(スラット, ボックス)
ドアクローザー, 換気口

③二次部材

手すりユニット, ガラス製手摺り, フェンス

④屋上設置

太陽光発電設備, 屋上(外壁)緑化, デッキプレート

③その他

屋外キュービクル, 通信設備, 電子部品(IP)、
電波塔(アンテナなど)、オーニング、照明設備
看板、屋外時計

◆装置の概要

口径	幅2.5m × 高さ2.5m	幅1.8m × 高さ1.8m	幅1.4m × 高さ1.4m
風速(最大)	35m/s	50m/s	60m/s
散水量(最大)	240mm/h		